



発行責任者
堤 敏博

【校長室より】

『支えられ続けてきた120年』

校長 堤 敏博

1900年5月23日、午前10時。五島中学校の開校式が行われました。来賓の数2千名以上。長崎から音楽隊を招き、五島始まって以来の盛大な催しだったと、当時の新聞は伝えています。そして今日、ここに創立100周年の記念式典が行われています。多くの来賓の方々や各界で活躍されている先輩方とともに、この佳き日を祝えることを光栄に思います。この100年間に、世界は驚くほど変わりました。2度の大戦や今なお続く地域紛争。世界中を瞬時につなぐ通信網の発達。それらは人間の生活のスタイルや価値観を大きく変えてきました。しかし、故郷「五島」の自然と石田城のこの城壁は100年の昔と変わりません。私たちがこのような素晴らしい環境で学べるのは、この学校の創立に奔走された多くの方々や、五島の基礎を作ってくださった諸先輩方のお力です。今の五高生はこの事を忘れてはいけません。また、私たちは生きているのではなく「生かされている」。そして、私たちを生かしてくれるものすべてに感謝する。これは「五高生」としてと云うよりも、「人間」としての基本であり、これからの時代も見失ってはいけないものです。

これは、本校創立100周年記念誌の生徒会長あいさつの一部です。本校は、今年、創立120年を迎え、10月24日には記念式典並びに記念講演会を開催する予定です。ここで20年前の生徒会長のあいさつを読み、改めて、創立時から途切れることなく地域、保護者、同窓会等の様々な方のご理解やご支援のお陰で現在の教育活動ができること、そして、そのことに感謝の気持ちを持って学校生活を送っていかねばならないことを再確認しました。

本校の同窓会は、五島中学校、五島高等女学校、五島高等学校の同窓会として設立され、『石城会』と名付けられています。東京石城会、大阪石城会、長崎石城会、全国石城会（五島市開催）、定時制同窓会（五島市開催）があり、各地で活発に活動されています。同窓会の皆様方から様々な支援をいただいている中の一つとして、五島高校サポーター会会員による募金（五島高校サポーター基金）を部活動遠征費などの交通費や宿泊費の補助に使わせていただいています。平成27年8月に初めて全校生徒の前で贈呈式を行い、以降年間50万円～70万円の寄付を毎年いただいています。

在校生のみなさんも、改めて感謝の気持ちを持つとともに、卒業後、後輩のために同窓会の活動に積極的に参加してもらえると嬉しいです。

今後も、全校生徒及び教職員一丸となって、地域、保護者、同窓会等の様々な方々の熱い想いに応えられるよう、さらに頑張っていきたいと思えます。

「すぽこ百人一首大会」

今年で12回目となる「すぽこ百人一首大会」が1月27日（月）に行われました。この大会では、全学年のスポーツコースの生徒が一堂に会し、百人一首のチーム戦を行います。

生徒たちはこの日のために、国語の授業等で練習を積んできました。試合では、覚えた和歌が詠まれるやいなや素早い動きで札を取りに行く姿が見られました。また、国語科の先生だけでなく、スポーツコースの先生方や3年生にも札を読んでもらい、会場は盛り上がりま



「スポーツコース卒業発表会」

1月29日（水）に本校軽スポーツ場にてスポーツコース第15期生の卒業発表会を開催しました。生徒20名が5班に分かれ、それぞれが興味を持った分野を研究し、プレゼンテーションを行いました。どの班も工夫を凝らした研究内容で、興味深いものばかりでした。

15期生の堂々と発表する姿に3年間の成長ぶりがみられました。今後ますますの活躍を期待します。ご多用の中、多くの方々にご参観いただいたことに対しまして感謝致します。



「生徒総会を終えて」

2月18日（火）に1、2年生による生徒総会が行われました。この日に向けて生徒会執行部はクラスや部活動からの意見や要望を集約し準備を進めてきました。校内施設に関する要望については、高木事務長先生に話をうかがい、施設改修ができない理由や改修には優先順位があることなどを聞くことができました。

当日は議長の進行により新年度予算の承認や専門委員会の報告などが行われました。また会長の野口太瑤君からは、生徒数の減少にともない、来年度の生徒会予算が減額され、五高祭や体育祭の費用も減額される予定であること。減額された分を、古紙の売却金や五島市からの報奨金で補えるよう、いらなくなった紙ゴミを、ゴミ箱ではなく、古紙回収ボックスへ入れるよう、協力をお願いがありました。

これから五島高校を背負っていく1、2年生が責任と自覚を持って学校生活を送っていくことを期待します。

「准看護師資格試験」

2月13日（木）にメモリアルホールで、准看護師資格試験の「出陣式」を実施しました。

受験する3年7組の生徒22名と衛生看護科・普通科の代表生徒、教職員が参加しました。式では生徒を代表して入口舞桜さんが「私たちが実習の際、闘病生活で辛いはずなのに笑顔で私たちを迎え入れてくれた患者様のためにも、そして、3年間私たちを支えてくれたたくさんの方々のためにも、明日の資格試験では持てる力を発揮し全員合格を目標に頑張ります。」と決意を表明しました。また1・2年生からは合格を祈願し折鶴が贈呈され、資格試験に臨む生徒一人ひとりが本番の試験への決意を新たにしました。

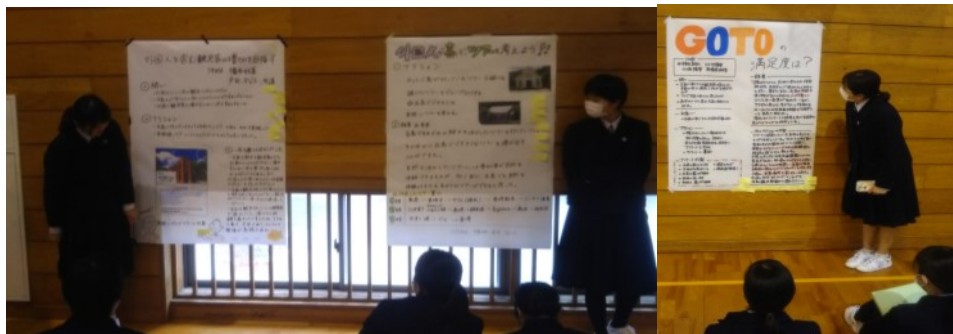
多くの方に見守られながら今日を迎えられたことを感じる式で、生徒達にとって大きな励みとなりました。



「バラモン発表会」

2月12日（水）の7校時に2年生によるバラモンプラン校内最終発表会を行いました。生徒たちはポスター1枚に1年間の活動内容をまとめ、先生方や友人に説明しました。

トマトのソフトクリームを開発し、香珠子海水浴場で販売したり、廃野菜を使ってスイーツを開発したり、剣道を小さな子供たちに広めるための活動をしたりするなど、活動内容は多岐にわたっており、発表後にはアドバイスや「面白かった」「よかった」などの感想が盛んに飛び交い、発表会は大盛況でした。



「県高校新人駅伝大会」

2月1日（土）に諫早で行われた県高校新人駅伝大会に出場しました。

結果は男子が2時間36分10秒で26位、女子が1時間28分00秒で18位でした。現在、長距離を専門とする部員は男子3名女子2名です。それに加え短距離を専門とする部員でチームを構成しました。体育の授業の中でも長距離走を嫌う生徒が多くいる中、上記メンバーは苦しさを楽しむことができるという素質を持っています。

次は高総体ですべての力を出し切るためにも、後悔のない日々を積み上げていきます。



「校内マラソン大会」

雨天による延期で2月7日（金）校内マラソン大会を実施しました。五島市中央公園陸上競技場を発着点に、男子は約10km、女子は約6kmを走り抜きました。この日のために、約2か月間体育の授業の時間を利用して持久走に取り組んできました。本番では、スタート後に小雨がちらつきましたが、雨にも負けず誰一人リタイアすることもなく、全員が完走することができました。生徒のみなさんは、このマラソン大会で得たものを今後の人生や部活動で活かしてもらいたいと思います。

また、豚汁の炊き出しにご協力いただいた保護者の皆様、さらに、大会当日沿道からご声援いただいた保護者の皆様、本当にありがとうございました。この場を借りましてお礼を申し上げます。

